

朝日庄内プロジェクト

～ 地域と連携した森林の保全管理を推進 ～

「先人の偉業に感謝し、自らも松林を守り育てよう」を合い言葉に、光ヶ丘松林整備ボランティア活動が平成21年6月27日(土)に酒田市で開催されました。

開会式セレモニーでは約230人の参加者を前に阿部酒田市長から、10回目を迎える活動の成果に深く感謝するとともに、この活動が継続・発展することを期待していると挨拶がありました。

当センターでは全員参加で昨年と同様に第二会場の1班の指導を担当し、県職員、市役所職員、一般参加者約30名と森林整備の作業を行いました。

当日は好天に恵まれ朝から気温が上昇する気候でしたが、森林整備(鎌作業)の経験者が大半だったことから作業も順調に進み、約1時間で林内はすっかり整備されそよ風が通り過ぎるようになりました。

当センターでは、水タンク、バケツ、砥石等を準備して持参し、作業中に切れ味の低下した鎌の手入れや終了後の鎌の刃付け等に対応しました。

特に終了後の鎌の刃付け時には、参加者が日の当たる狭い場所で混雑して実施していたことから、松林の日陰で余裕を持って手入れが出来たと好評を得ています。

今後も「出羽庄内公益の森づくりを考える会」等の活動の中で、地域と連携した森林保全活動を推進したいと考えています。参加者の皆さん暑い中を本当にご苦労様でした。



平成21年6月28日(日)

山形新聞 朝刊掲載記事



クロマツ林守ろう
市民ら約100人参加
酒田

クロマツ林を守り育てようを合い言葉に、酒田市の光ヶ丘松林整備ボランティア活動が27日、酒田市の光ヶ丘松林整備センターで開会式セレモニーが行われ、阿部酒田市長から、10回目を迎える活動の成果に深く感謝するとともに、この活動が継続・発展することを期待していると挨拶がありました。

当センターでは、水タンク、バケツ、砥石等を準備して持参し、作業中に切れ味の低下した鎌の手入れや終了後の鎌の刃付け等に対応しました。

特に終了後の鎌の刃付け時には、参加者が日の当たる狭い場所で混雑して実施していたことから、松林の日陰で余裕を持って手入れが出来たと好評を得ています。

今後も「出羽庄内公益の森づくりを考える会」等の活動の中で、地域と連携した森林保全活動を推進したいと考えています。参加者の皆さん暑い中を本当にご苦労様でした。